

秋の沢旅 東北編①～甲子山 阿武隈川水系白水沢左俣右沢～

【報告者】H田

【日時】2019年9月5日

【天候】くもり

【参加者】H田 ほか 会員外2名（リーダー、Fさん）

《コースタイム》

8:06 甲子温泉→8:10 白水沢入溪→9:30 左俣・右俣出合い→12:15 甲子峠分岐→12:30 甲子山山頂
→14:05 甲子温泉

《 報 告 》

今年も、東北の沢を訪れる。

初日に選んだ沢は、甲子山（かしさん）という那須連峰の北側、福島県にある山で、ハイキングや縦走でも人気のお山なのだそうです。登山口の手前には、甲子温泉という日本秘湯を守る会のお宿で人気の大黒屋旅館があり、登山者も沢屋も、この温泉旅館の敷地を通り抜けて甲子山登山口へアクセスする。10年ほど前に建てかわったという立派な佇まいの温泉宿は、登る前から下山後のお楽しみとなった。

甲子温泉の駐車場から、旅館前を通過し、登山口の標識を見て堰堤を越え、ものの3分ほどで入溪地点に着くと、すぐ目の前に現れたキレイな溪相に魅了されてしまった。白水の滝、6m斜滝と、序盤から登れる美しい滝が出てきて嬉しくなる。釜の水はエメラルドグリーン。好い沢だ。衣紋滝 20m を右岸から巻いたほかは、小滝やナメが次々と現れ、飽きず歩ける。キレイなナメ床を歩きながら、もう少し秋が深まる頃に訪れたら、紅葉とあいまってとても素敵だろうなと思った。

前夜は小雨が降り、朝の気温は16℃と少し冷え込んだが、遡行中、さほど寒くは感じなかった。

沢筋に温泉が湧いているのか、どこからか流れ込んでいるのか、水温が高いわけではないが、温泉地によく見かける濃緑色のコケ、たぶんイデユコゴメという藻類らしきものが、水流の下の岩にたくさん付いている。その濃さから、温泉成分が多く溶け出しているのではないかと想像する。

中盤、遡行図に「倒木ダム」とあが、本当に倒木で流れを阻害された所があり、ちょうど二俣の分岐でもあった。堰き止められているのは、ルートである左俣の方で、遡行図がなければ、右俣が本流と思いきやそうなる所だ。

奥の二俣から先の後半は、所々で岩が脆い。核心部というほどではなかったが、3段 30m 滝は、特に上段部の岩が脆く剥がれやすくなっていて、かなり慎重に登った。

沢の源頭部から詰め上げの登山道までは、15分程度の藪こぎだったが、前回の遠征の時に見舞われた藪に比べれば、さほど濃い藪でもなく、稜線も近くに見えているため苦にならなかった。

甲子山の山頂は、合流した登山道から10分ほどの所に分岐があり、そこからピストンで片道約15分ほどだった。初めて訪れた甲子山山頂は、眼下の眺望はガスに包まれて見えなかったものの、正面に旭岳を拝むことができた。下山の登山道は、丁寧に間伐された原生林で、ビジュアル系キノコ達がひょこひょこ出てきてくれて嬉しかった。

下山後、甲子温泉大黒屋さんのお湯をいただきたく、14時を少し過ぎた頃、玄関前を通過して日帰り入浴15時までと掲げて空いているのを確認し、荷物を車に置いて駆け戻ると…それからたった5分ほどしか経っていなかったのに、看板が閉館に変わっている。秘湯と聞いて楽しみにしていただけに、呆然…。高級温泉旅館は、沢の香漂う私共には少し敷居が高過ぎたのかも知れない。♫の温泉は、鉄ちゃん達には有名な湯野上温泉駅そばの民宿星野井さんで堪能いたしました。



元湯甲子温泉大黒屋さん



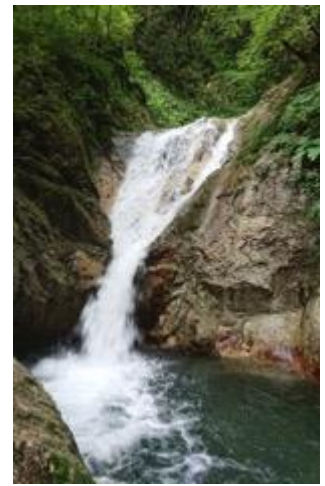
この門をくぐると登山口



いきなりキレイ



白水滝 10m



6m 斜



通行区：阿武隈川源流 白水沢左俣右沢
通行日：2012年9月1日

